

語源による英単語記憶

三枝 保

1. まえがき

東洋のことをオリエントというのは、ラテン語で昇るを意味する *ori* から(太陽の)昇る方向、すなわち「東方」に由来し、西洋をオクシデントというのは *oc* (～方に)と *cid* (～落ちる)から(太陽の)落ちる方向「西方」に由来する。英単語も漢字と同じように、その綴りの中に意味が含まれていることを、生徒に理解させ英単語を覚える一助にしたい。以下は幾つかの例である。

2. 単語の語源

①入れる, 認める (*admit*)

admit は「送る」を意味する *mit*, *miss* からできた語で, *mit*, *miss* からは次の語が派生した。

- admit* (～の方へ送る) → 入れる
- commit* (一緒に送る) → 委託する
- dismiss* (向こうへ送る) → 去らせる
- omit* (～の方へ送る) → 省略する
- transmit* (横切って送る) → 移す
- submit* (下に送る) → 服従する
- promise* (前もって送る) → 約束

その他には *message* (言づて), *missile* (とび道具), *mission* (使節), *compromise* (妥協する) などがある。

②大学 (*college*)

college は「拾い集める, 選ぶ, 読む」の意味の *legre* からできた語であり, 原意は(同じ職業で選ばれた人たち)である。*legre* 「拾い集める」からは *diligent* (勤勉な), *intelligent* (聡明な), *eligible* (選ばれる資格のある), *collect* (収集する), *colleague* (同僚)等の語ができた。

その他では *selection* (選択), *election* (選挙), *neglect* (勤勉に否定の *ne* がついて「怠る」), *negli-*

gee (動かないときに着るもの)から *neglige*, *lecture* (講義), *lesson* (授業), *legend* (伝説)等がある。

③危険 (*danger*)

danger の語源は「領主の権力」を意味するラテン語の *dominium* である。これが「危険を加える権力」となり「危険」となった。*dominium* はキリスト以後は「主」を意味するようになり, 女性形 *domina* はフランス語で *dame* になった。イタリア語のマドンナ (*madonna*) やフランス語のマダム (*madame*) の元の意味は *my lady* である。パリのノートル・ダム (*Notre Dame*) も *our lady* (聖母マリアを指す) を意味する。

dominium から派生した語には *dominion* (支配, 領土), *dominate* (支配する), *domestic* (家庭の, 国内の), *dome* (ドーム)等がある。アメリカの分譲マンション *condominium* の原意は共同支配である。イタリアやスペインで男性に対して使う *Don* は主人を意味する *dominus* に由来する。

④記述する (*describe*)

ラテン語の *de* (下に)と *scribere* (書く)に由来する。

- inscribe* (中に書く) → 記入
- manuscript* (手で書く) → 原稿
- post script* (後で書く) → 追伸 (P.S.)
- prescribe* (前もって書く) → 処方する
- script* (書かれたもの) → 脚本
- subscribe* (下に書く)

同意して下にサインするより → 講読する

⑤公爵 (*duke*)

この語は「導く」を意味する *duct* からできた。*duke* は「導く者, 指導者」の意味から爵位の高い公

爵の意味になった。educate (教育する)は「外に導く」が原義であり(人間の美を)引き出すことが教育であると考えられた。

duct からは次の語が派生した。

conductor (一緒に導く者) → 導体, 指揮者

produce (前に導く) → 産出する

introduce (中に導く) → 導入する

deduce (～から導く) → 推論する

induce (中に導く) → ～させる, 帰納する

seduce (離して導く) → 誘惑する

⑥行事(event)

eventはe(外)とvent(来る)から、やってくるもの、即ち「でき事、行事」となった。

adventure (～へやって来るもの) → 冒険

convenient (一緒に来る) → 便利な

prevent (前もってやって来る) → 防ぐ

invent (～の上にしてやって来る) → 発明する

convention (一緒に来る) → 集会

intervene (中に来る) → 干渉する

revenue (再び来る) → 収入

souvenir (心に浮かぶ) → 土産

⑦顔(face)

顔の語源はfacere(作り、顔の作り)である。

fact(なされたこと) → 事実

factor(する人) → 要因

fashion(作ること) → 流行, 様式

feature(作り) → 顔だち, 特徴

manufacture(手で作る) → 製造する

effect(作り上げる) → 効果

perfect(やり遂げる) → 完全な

superficial(上の作り) → 表面

preface(前の作り) → 序文

fiction(作ったもの) → 作り話

infect(中に入れる, 汚す) → 汚染する

efficient(作る, もたらず) → 効果的な

⑧注射する(inject)

jectは「投げる」という意味である。したがってinject(中に投げる)より「注射する」になる。project(前に投げる)は「投影する, 計画する」になり, reject(後に投げる)は「はねつける」ことであり, object(反

して投げられたもの)とは「対象, 目的」である。subject(下に投げる)から「従属させる, 家来, 主体」ができ, interjection(中に投げられたもの)は「間投詞」である。adjective(名詞に)投げられたもの(加えられたもの)とは「形容詞」であり, eject(外に出す)とは「追い出す」「発射する」である。ラジカセのEJECTのところを押せばテープは飛び出すはずである。

⑨行儀(manners)

マナーはmanus(手)から派生した語で, 元の意味は「手で作られた」であり, それが仕方, 方法となった。

manage(扱い方) → 管理する

manifest(手に取れる) → 明らかな

commend(人手に任せる) → ほめる

'recommend(再び人に任せる) → 推薦する

maneuver(上手に操作する) → 策略

manicure(手の手入れ) → マニキュア

command(手を与える) → 命令する

demand(託する) → 要求

maintenance(手に持つ) → 維持

manacle(小さな手) → 手錠

mannerism(手法にこだわる) → マンネリズム

manual(手に持った本) → 手引き

manipulate(手で扱う) → 操作する

manure(手で働く) → 肥料をやる

emancipate(手から取る) → 開放する

⑩自然(nature)

natureは「生まれる」を意味するgnatから派生した。したがってnatureには(生まれもったもの), すなわち「性質」という意味もある。

genius(もって生まれたもの) → 天分

genial(もって生まれたもの) → 親切的な

genuine(生まれつきの) → 本物の

genital(生む) → 生殖の

vagina(生む) → 膣

hydrogen(水を作る) → 水素

Renaissance(再び生まれる) → ルネッサンス

pregnant(生まれる前) → 妊娠した

その他には次の語がある。

nation → 国民

gender → 性

generate → 生む Genesis → 創世記
 generation → 世代 generous → 寛大な
 generator → 発電機 engender → 生む
 genre → ジャンル
 gentle → 生まれのよい, 優しい

⑪ペンダント(pendant)

ペンダントはぶら下がる意味のpendereからきた語である。ローマ時代pendは「重さを量る」意味があった。重さは天秤で量ったので「つるす」の意味を生じた。量った後は売買をしたので「払う」という意味も生じた。つまりpendには「つるす」「重さを量る」「払う」の意味がある。pendantは「垂れ飾り」の意である。男性のシンボルも「垂れる」と関係がある。

その他にはpendulum(振り子), suspend(つるす), expend(外に払う)から「支払う」, appendix(付加物, 虫垂), spend(浪費する), pension(年金を払う), compensate(代償を払う)から「償う」がある。depend(下へ下がる, 支えられる)から「当てにされる」, independent(独立した), perpendicular(垂直の), dispense(分配する), indispensable(不可欠の, 絶対必要な)などがある。

⑫港(port)

この語はportus(港)に由来する。opportunity(機会)の原意は(港に向かうための潮があるとき)を意味した。ford(浅瀬)はportと同語源であるが、音韻が変化したことはグリムの法則によって説明できる。余談だがFord(浅瀬)は1978年のアメリカ大統領選挙ではCarter(車)に乗り切られたのである。

opportunism(機会を見る人) → 日和見主義者
 transport(横切って運ぶ) → 輸送する
 import(中に運ぶ) → 輸入する
 export(外に運ぶ) → 輸出する
 support(下から運ぶ) → 支持する
 report(運び返す) → 報告する
 porter(運ぶ人) → ポーター
 deport(運び去る) → 追放する

⑬位置(position)

ラテン語のpos, ponは「置く」を意味する。pose(置く)は「姿勢をとる」となり, compose(一緒に

置く)は「組み立てる」になる。

expose(外へ置く) → さらす
 preposition(前に置く) → 前置詞
 component(一緒に置く)

→ 成分, コンポーネント

oppose(反して置く) → 反対する
 propose(～の方へ置く) → 申し出る
 purpose(～の方へ置く) → 目的
 suppose(下に置く) → 想像する
 positive(置く傾向にある) → 積極的な
 impose(上に置く) → 課す
 compound(一緒に置く) → 混合する
 deposit(下に置く) → ～置く, 預金する
 postpone(後に置く) → 延期する
 post(置く) → 地位, 郵便

⑭見物人(spectator)

spectatorはラテン語で「見る」の意味のspectumに由来し「見る人」の意味である。spectumからは次の語が派生した。

expect(外を見る) → 期待する
 inspect(中を見る) → 調べる
 respect(再び見る, 見直す) → 尊敬する
 despise(下を見る) → 軽蔑する
 suspect(ひそかに見る) → 疑う
 prospect(先を見る) → 予想
 aspect(見ること) → 様相, 見方

その他には

special(特別の) spice(香料)
 spectacles(メガネ) species(種)
 spectrum(スペクトル) specimen(見本)
 perspective(遠近画法)
 speculate(思索する, 投機する)
 conspicuous(人目を引く, 著名な)
 auspicious(さい先のよい) などがある。

despite(にもかかわらず)はspectumとは関係なさそうにもかかわらず派生語である。

⑮テント(tent)

テントは(引っ張る, 伸ばす, 広げる)という意味のtendereに由来する。派生語には次の語がある。tend(～に向かう)は「～しがちである」となり, tense(引っ張る)は「緊張」となる。

attend (ある方向へ向ける)

→ 出席する, 注意する

extend (外へ広げる) → 拡張する

detente (緊張を緩める) → デタント

contend (一緒に向かう) → 争う

intend (～へ向かう) → 意図する

pretend (前に向かう) → 主張する, 装う

tone (声を張りつめる) → 音調, 調子

その他には attempt (試み), standard (標準) 等がある。

⑩列車(train)

トラクターは「引く」を意味する tract から来た語で「引くもの」の意である。train は(機関車が引く)から「列車」の意味になった。

attraction (引きつけるもの) → 魅力

contract (一緒に引く) → 契約

distract (向こうへ引く) → 散らす

subtract (下へ引く) → 減らす

abstract (～から引く) → 抽象的な

extract (外へ引く) → 抜き取る

protractor (引き出すもの) → 分度器

その他には次の語がある。

trace 「跡をたどる」 trail 「引きずる」

treat 「扱う」 trawl 「トロール, 底引き網」

3. 語源テスト(試案)

___年 ___組 ___番 氏名_____

次の()内にイ～ヌから適語を選んで入れよ。

- | | |
|---------------|--------|
| 1. duct () | イ. 見る |
| 2. lect () | ロ. 作る |
| 3. grad () | ハ. 手 |
| 4. manu () | ニ. 段階 |
| 5. spect () | ホ. 書く |
| 6. ject () | ヘ. つるす |
| 7. fact () | ト. 引く |
| 8. scribe () | チ. 投げる |
| 9. pend () | リ. 音 |
| 10. phon () | ヌ. 選ぶ |

意味を書きなさい。

1. conduct _____
2. elect _____
3. gradual _____
4. manicure _____
5. spectator _____
6. reject _____
7. defect _____
8. transcript _____
9. suspect _____
10. telephone _____

語源テストの試案です。種々のバリエーションができると思います。

4. あとがき

英語の語源を調べると、ラテン語からの影響が大きいことをあらためて知らされる。しかしラテン語の語根の数は限られているので比較的調べやすい。

語源をたどっていくと、元の意味からかけ離れた意味で使われている語や、まったく意味の変わらない語や、なるほどと納得させられる語などいろいろあり勉強になる。そしてそれらの語はヨーロッパの古代人の考え方的一端をのぞかせてくれる。

語源に関心をもつと、ある単語を見た場合それがどういう経過をたどったのだろうと、今までと別の角度からも考えるようになる。

参考文献

Roberts, Paul. *Understanding English*. Harper & Row.

Fleyner, S. "How to Increase Your Word Power," *Reader's Digest*, 1975.

渡部昇一 『英語の語源』 講談社, 1977.

吉沢典男・石橋敏雄 『外来語の語源』 角川書店, 1979.

梅田修 『英語の語源物語』 講談社, 1988.

(白鷗大学足利高等学校講師)